



学校だより



のびていこう「わかる つながる 高め合う」はやぶちっ子

いろはにほへと

校長 土屋 俊朗

明けましておめでとうございます。庚子(かのえね)の年がスタートしました。

子年は十二支の始まり。年の初め…ものの始め…初めて何かを習うとき「イロハから教わる」などと申します。…というわけで、「いろは歌」。

色は匂へど 散りぬるを 我が世誰ぞ 常ならむ

(いろはにほへと ちりぬるを わかよたれそ つねならむ)

有為の奥山 今日越えて 浅き夢みじ 酔ひもせず

(うるのおくやま けふこえて あさきゆめみし ゑひもせず)

昔々、子どもの仮名の稽古に使われていた「いろは歌」。一字も重ならないように文を作るというのは、かなり難しい作業です。そのうえ五七調の歌に仕立て、さらに仏教思想の哲学的な内容を説いているのですから、その巧みさと深さはまさに驚きです。この「いろは歌」を作った人は、知識が豊富なことはもちろん、感性が豊かで、優れて知恵に長けていたことでしょう。

以前は賢い人というと、何でも知っている博学な人、というイメージがありました。ところが今は、スマートフォン片手に何でも簡単に調べられる時代。知識が容易に得られるようになった分、今求められているのは、様々な知識や知見を応用して、目の前の課題を解決したり、新しいものを創り出したりする力でしょう。

新吉田第二小でも、自分から進んで学び、友達とともに楽しみながら、考える力や問題を解決していく力が高まっていく授業を目指しています。遠い昔「いろは歌」を作った人のように、賢く心豊かな子に育つよう願って。

1月の目標

【生活】すすんであいさつをしよう。

【保健】外に出て 元気に遊ぼう。

【給食】給食にたずさわる人々に感謝の気持ちをあらわそう。

